

啐 啄 同 時

平成 28 年 3 月

校長室だより

学校教育目標「大好き芦田 大好きみんな 大好き自分」

春の日差しを感じつつもまだまだ寒い日がつづいています。学校では卒業式に向け全校で式練習に取り組んでいるところです。それと並行して、6年生は、3/15に「卒業リレーマラソン(42.195km)」に挑戦し最後の思い出作りをしました。『日本女子マラソン記録(2時間19分12秒)にチャレンジ!』という目標で、5年生、4年生そして先生方の協力により**2時間18分10秒**という記録で**目標達成**しました。

みんな「**疲れた～!でも、気持ちいい!!**」と言って無事終わりました!



いよいよ平成27年度もあと残すところ数日で終わろうとしています。この1年間、保護者・地域の皆様には、芦田っ子に「ふるさと芦田の良さ」を伝えるため、大変ご協力をいただきましたこと、心からお礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。また、来年度は**芦田小学校創立144年の歴史を閉じる最後の年**となります。皆様のご理解とご協力により閉校記念行事等を進めてまいりたいと考えています。

今年度は、7名の卒業生が間もなく芦田小学校から巣立とうとしています。そこで、「**巣立ち**」の話を紹介します。

巣立ちの話

鷺は他の鳥とは異なり、**断崖絶壁に巣を作る**といわれています。その巣は、**まず** 野バラなどのトゲのある枝をしっかりと組み合わせて外枠を作ります。**その内側に**木の葉などを敷き詰め、**最後には**自分の柔らかく暖かい羽毛を重ねて敷き詰めます。

そして 雛がかえると、親鳥は精一杯の努力をしながら、餌を与え懸命に雛を育て、その成長を見守り続けます。しかし、雛がもう十分に独り立ちできるようになると、巣立ちを促します。親鳥は、巣の内側にあった**柔らかい羽毛と木の葉を、すべてくちばしで外へ散らしてしまいます**。すると、巣には **鋭いトゲのある枝しか残りません**。雛は巣から飛び立とうとしますが、高い断崖絶壁から中々飛び立てません。しかし、枝にしがみつくとトゲが刺さります。どうすることもできなくなった瞬間に、雛は思い切って大空へ飛び立つそうです。**これが「巣立ち」となるのです**。そして、雛は自分の翼で飛べることを、この時初めて実感するそうです。(近畿大学附属小学校 HP 参照)

※子どもの**自立に向けた取組**として考えさせられます。

今年度の学校評価の公表

- 1 平成 14 年の「小学校設置基準」という法律により、学校は「自己評価の実施」と「その結果の公表」に努めることとなりました。
- 2 その目的は、「学校運営の改善を図るため学校職員だけでなく保護者や地域の方からも意見を頂き、改善に必要な措置を講じなさい」というものです。

下記の表は、「学校の自己評価(学校職員)」と「学校関係者評価(学校評議員)」の評価です。紙面の都合上、一部を掲載しておりますが、すべては、学校のHPをご覧ください。

評価の観点	評価項目	学校の自己評価	学校関係者評価
生徒指導	挨拶や清掃指導、時間厳守の徹底	挨拶はしっかりできる児童も多くいるが、アンケートの肯定的評価は90%に達していない。今後も継続して挨拶の大切さを指導していく。	気持ち良い挨拶ができています。大人の中でも挨拶がしっかりできていないところもあり、地域や家庭の中で意識していかななくてはならない。
保護者・地域住民との連携	安全な生活の推進	大きな事故はなく、安全に登下校できている。並び方や歩き方については、校外児童会等で継続して指導するとともに、セーフティーたんば号を活用し登下校の様子を把握し、危険の無いよう未然防止に努める。下校後は、しっかりと行先を伝え遊びに行くことができている。	上級生がしっかり声掛けし安全に登下校できている。セーフティーたんば号での見回りも大変ありがたく感じている。大きな事故、事件なく登下校できているため、数年前と比べると防犯ブザーも携帯しないようになり、各自の危機意識は下がってきているのではと感じることがある。
学習指導	学習規律、基礎基本の定着と授業改善による学力の向上	授業前に準備をしておくことについては課題が見られる。チャレンジタイムや授業改善を通して基礎学力の向上を図り、一定の成果が上がった。パワーアップタイム等での個別の課題への対応も継続していく。	手厚く学習内容が定着するように指導していただいていると感じる。子ども達の状況に合った個別指導もしていただき、子ども達も意欲がわいて成果が出ている。今後も一人一人の児童の状況を的確に把握して、指導を継続してもらいたい。アンケートでの児童の学習準備の意識が低いので向上するよう意識づけをお願いしたい。
人権教育	人権を基盤とした学校・学級づくり	友だちの名前に「君・さん」をつけて呼ぶことは定着してきている。感想タイムや終わりの会で友だちのいいところを見つけることに関しては74%と伸び悩んでいる。指導的評価にさらに取り組み、自尊感情を高めるよう取り組む。	感想タイムは友だちを思いやりいいところを発表し励みになる。表情も明るくなりまた頑張ると思う。リーダーシップ・フォローシップは芦田の一番いいところなので、これからも継続して指導していただきたい。長年の取組がある芦田小の子が青垣小でリーダーシップをとれるよう取組を継続してほしい。

